

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16089
課題名	人工肛門を造設した認知力低下のある高齢者への看護介入の検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2016年12月10日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2015年4月1日 ～ 2016年7月31日
研究の意義、目的	<p>日本では高齢化が進んでおり、手術を受ける高齢の患者様が増加しています。旭川医科大学病院消化器・移植外科では、平成27年度に74名の人工肛門造設術を行っており、そのうち65歳以上の患者様が76%と高齢の患者様が多い現状があります。</p> <p>人工肛門を造るとお腹から便が出てくるようになるため、お腹に袋をつけます。袋の中の便を捨てたり、袋の交換をするなどの新しい排泄の習慣を身につける必要があります。高齢の患者様の中には新しい習慣を身につけることが難しい方もおり、そのような患者様が人工肛門と共に生活を送ることができるよう、看護師は入院中にお手伝いをさせて頂いています。</p> <p>今回の研究では、人工肛門を造った高齢の患者様への看護師の関わりを振り返ることで、新しい排泄の習慣を身につけるまでのより良い関わりを考えていきます。その結果を元に今後の退院を見据えた関わりに活かしていくことを目的とします。</p>
研究の方法	対象患者様の診療記録や看護記録から、患者様の言動や看護師の関わりを振り返ります。
その他	該当なし。
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：看護部 6階東ナースステーション 研究者：後藤 杏奈、安田 美紀、山田 亜理沙、登立 碧 責任者：看護師長 田中 理佳 住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号：0166-65-2111 （病棟内線番号）3670